

滋賀県 景況調査結果報告書

令和4年度 第2四半期
(令和4年7～9月)

目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	9
4. 業種別の結果	13
5. 追加設問の結果	24

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和4年7～9月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査報告書については、滋賀県公式ホームページをご覧ください。

滋賀県公式ホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的:滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法:郵送アンケート

回答受付方法:しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	Eメール	合計
回答数	339	53	6	4	402
(割合)	84.3%	13.2%	1.5%	1.0%	100.0%

調査対象企業数:滋賀県内の事業所(750社)

回答受付期間:令和4年8月25日～9月9日

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

回答企業数:402社(回答率53.6%)

※大企業29社、中小企業373社(うち小規模事業者126社)

(参考) 規模・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	16	2	0	5	6	29
中小企業・ 小規模事業者	156	68	28	23	98	373
合計	172	70	28	28	104	402
(業種別比率)	42.8%	17.4%	7.0%	7.0%	25.9%	100.0%

(端数の四捨五入により、各項目の合計は100%と
ならない)

(参考) 地域・業種別回答事業所内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	14	10	6	4	20	54
南部地域	37	12	3	4	21	77
甲賀地域	26	10	4	4	11	55
東近江地域	33	9	7	5	11	65
湖東地域	22	10	3	5	16	56
湖北地域	22	10	3	2	12	49
高島地域	18	9	2	4	13	46
合計	172	70	28	28	104	402

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【結果の概要(業況DI)】

- **【全体】** 今期は▲13.0と、前期と比べて5.6ポイント悪化した。
来期は▲10.0と、マイナス幅が縮小する見通しである。
- **【規模別】** 大企業では▲6.9とマイナスに転じ、中小企業(小規模事業者を含む)では▲13.5とマイナス幅が拡大した。
来期は、大企業が▲10.3とマイナス幅が拡大し、中小企業は▲10.0とマイナス幅が縮小する見通しである。
- **【業種別】** すべての業種で、前期と比べて悪化した。サービス業はプラス幅が縮小し、その他の業種はマイナス幅が拡大した。
来期は、サービス業はプラス幅が拡大し、製造業はマイナス幅が縮小する一方、建設業と卸売業はマイナス幅が拡大し、業種によって見通しに違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期:令和4年7月~9月、来期:令和4年10月~12月

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

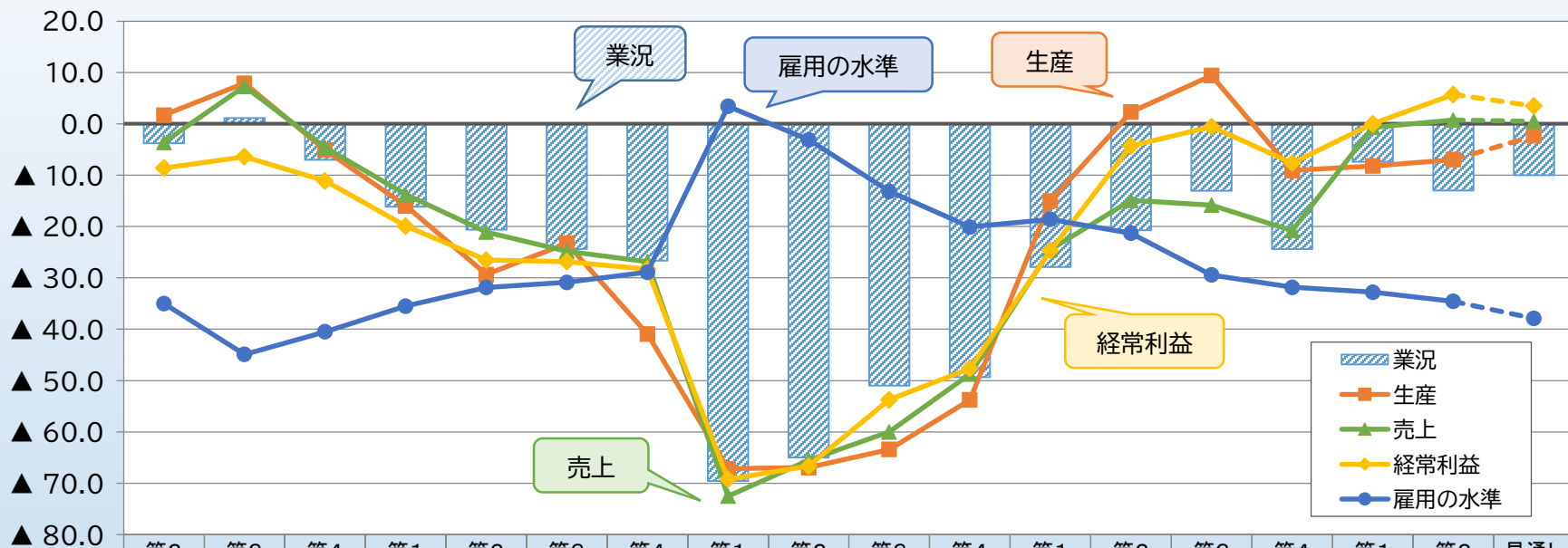
5. 追加設問

業況DIの推移

(平成20年度 第1四半期～令和4年度 第2四半期)



各種DIの推移 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 10.0
生産	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 2.3
売上	▲ 3.6	7.3	▲ 4.6	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 72.5	▲ 65.5	▲ 60.0	▲ 48.8	▲ 24.5	▲ 14.9	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 0.7	0.8	0.5
経常利益	▲ 8.6	▲ 6.4	▲ 11.1	▲ 19.9	▲ 26.5	▲ 26.8	▲ 28.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 53.7	▲ 47.7	▲ 24.7	▲ 4.3	▲ 0.6	▲ 7.6	0.0	5.7	3.5
雇用の水準	▲ 35.0	▲ 44.9	▲ 40.5	▲ 35.5	▲ 31.9	▲ 30.9	▲ 28.9	3.4	▲ 3.1	▲ 13.1	▲ 20.1	▲ 18.6	▲ 21.3	▲ 29.4	▲ 31.8	▲ 32.8	▲ 34.6	▲ 37.9

【今期(令和4年7～9月期)の景況】※前年同時期との比較
 業況DIはマイナス幅が拡大、生産DIはマイナス幅が縮小、売上DIはプラスに転じ、経常利益DIはプラス幅が拡大した。
 雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和4年10～12月期)の見通し】
 業況・生産の各DIはマイナス幅が縮小し、売上・経常利益の各DIはプラス幅が縮小する見通し。
 雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まる見通し。

1. 調査概要

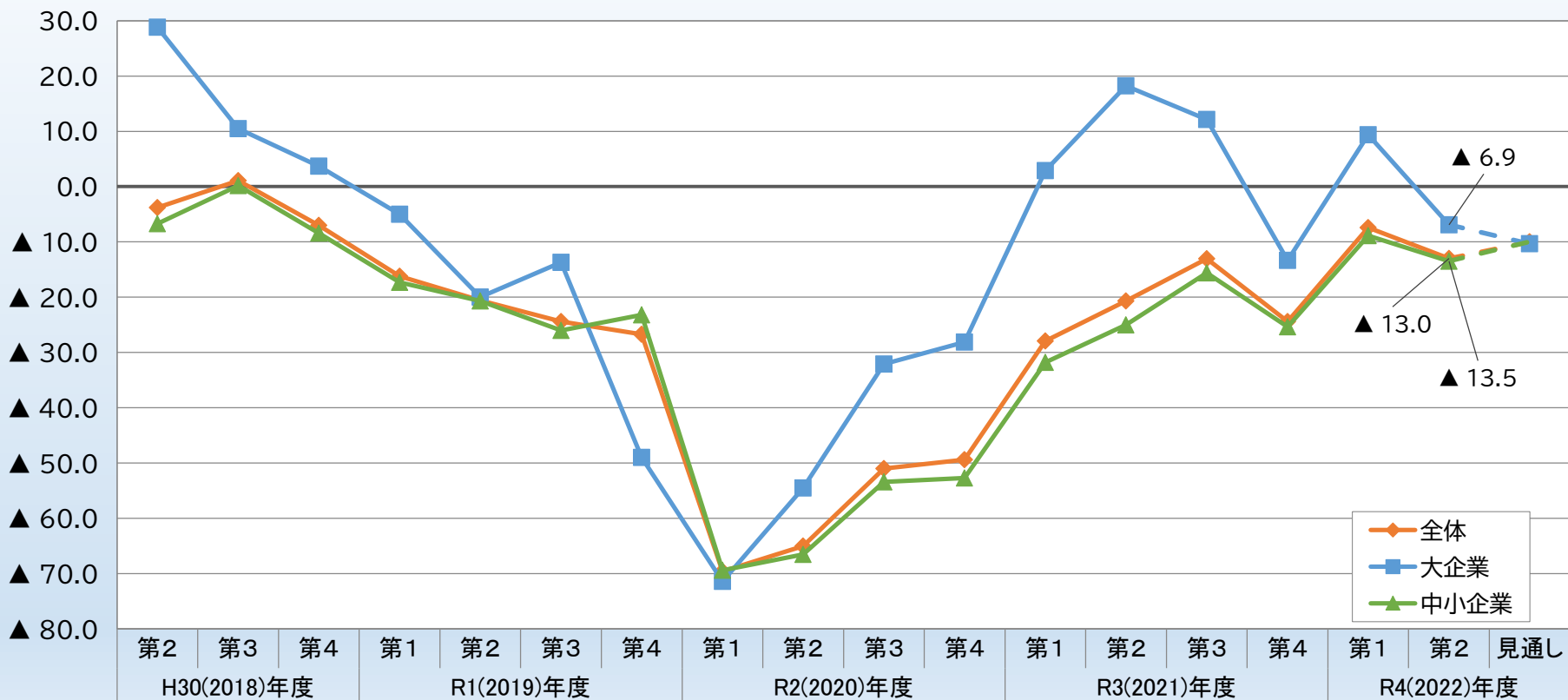
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【企業規模別】業況DIの推移 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【大企業】

今期: ▲6.9とマイナスに転じた。

来期: ▲10.3とマイナス幅が拡大する見通し。

【中小企業】

今期: ▲13.5とマイナス幅が拡大した。

来期: ▲10.0とマイナス幅が縮小する見通し。

【企業業種別】業況DIの推移 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

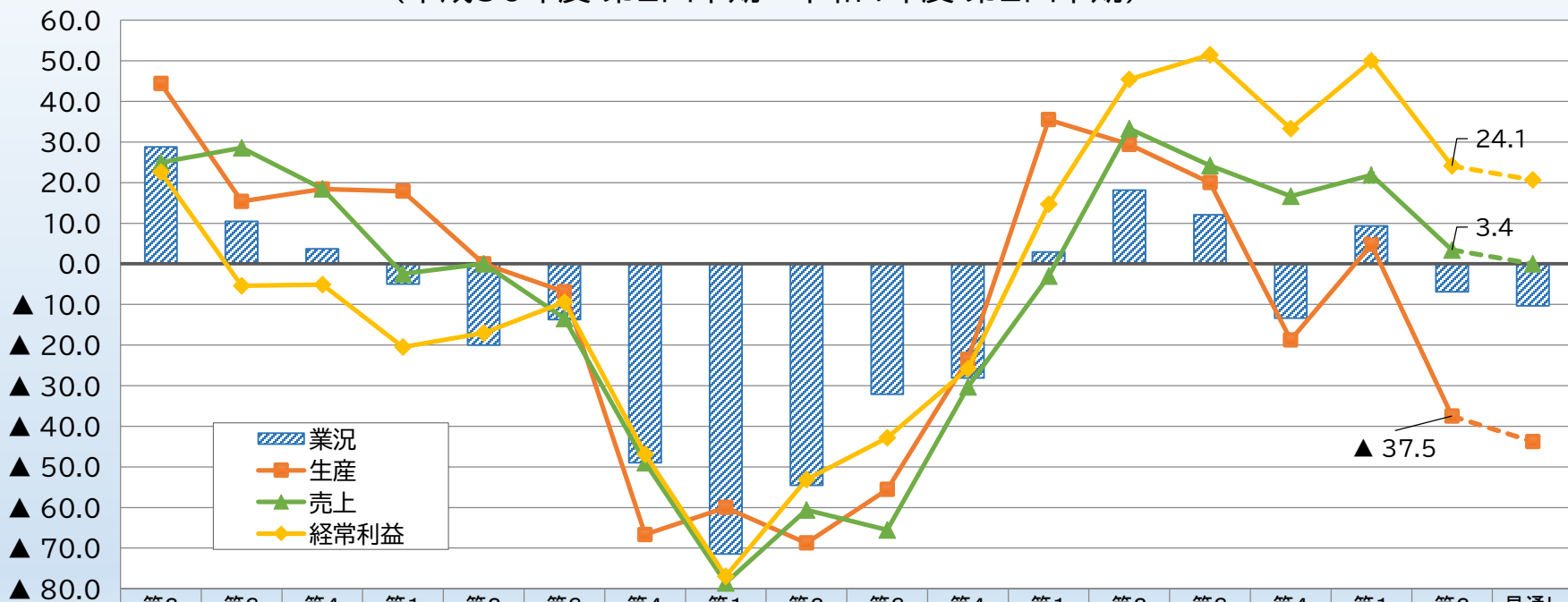


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
全体	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 24.4	▲ 7.4	▲ 13.0	▲ 10.0
製造業	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.5	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 5.2
建設業	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 26.1
卸売業	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 4.5	▲ 14.3	▲ 32.1
小売業	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 45.5	▲ 5.6	▲ 25.0	▲ 25.0
サービス業	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	2.9

【製造業】	今期: ▲15.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲5.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【建設業】	今期: ▲24.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲26.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期: ▲14.3とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲32.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【小売業】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0と同水準の見通し。
【サービス業】	今期: +1.9とプラス幅が縮小した。	来期: +2.9とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

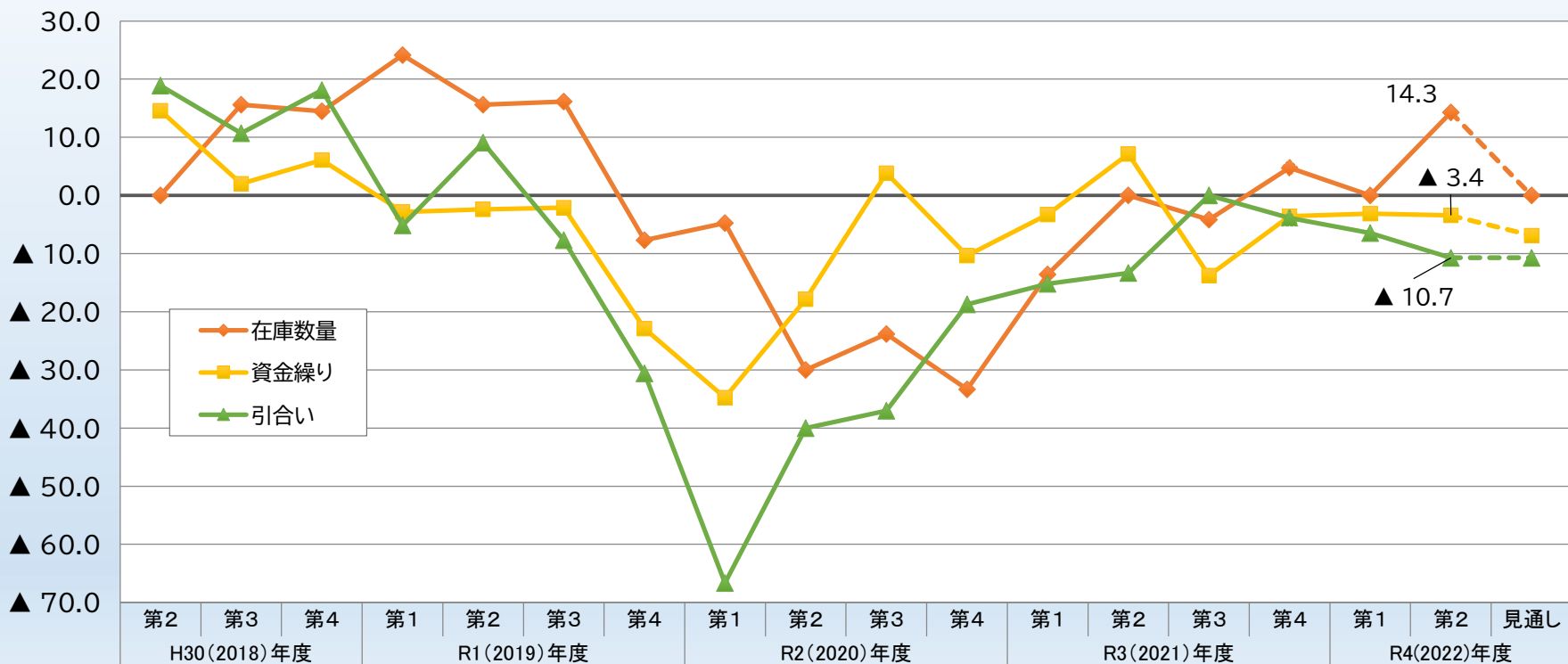


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	28.8	10.5	3.7	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	▲ 13.3	9.4	▲ 6.9	▲ 10.3
生産	44.4	15.4	18.4	17.9	0.0	▲ 6.9	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 68.8	▲ 55.6	▲ 23.5	35.5	29.4	20.0	▲ 18.8	4.8	▲ 37.5	▲ 43.8
売上	25.0	28.6	18.5	▲ 2.4	0.0	▲ 13.5	▲ 49.0	▲ 78.6	▲ 60.6	▲ 65.5	▲ 30.3	▲ 3.0	33.3	24.2	16.7	21.9	3.4	0.0
経常利益	22.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 20.5	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 46.9	▲ 76.9	▲ 53.1	▲ 42.9	▲ 25.8	14.7	45.5	51.5	33.3	50.0	24.1	20.7

【業況】	今期: ▲6.9とマイナスに転じた。	来期: ▲10.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期: ▲37.5とマイナスに転じた。	来期: ▲43.8とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +3.4とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +24.1とプラス幅が縮小した。	来期: +20.7とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			R4(2022)年度			
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
在庫数量	0.0	15.6	14.5	▲ 24.1	15.6	16.1	▲ 7.7	▲ 4.8	▲ 30.0	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 13.6	0.0	▲ 4.2	4.8	0.0	14.3	0.0
資金繰り	14.6	2.0	6.1	▲ 2.9	▲ 2.4	▲ 2.1	▲ 22.9	▲ 34.8	▲ 17.9	3.8	▲ 10.3	▲ 3.3	7.1	▲ 13.8	▲ 3.6	▲ 3.1	▲ 3.4	▲ 6.9
引合い	18.9	10.7	18.1	▲ 5.1	9.1	▲ 7.7	▲ 30.6	▲ 66.7	▲ 40.0	▲ 37.0	▲ 18.8	▲ 15.2	▲ 13.3	0.0	▲ 3.8	▲ 6.5	▲ 10.7	▲ 10.7

【在庫数量】	今期: +14.3とプラス幅が拡大した。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲3.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲6.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲10.7とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.7と同水準の見通し。

1. 調査概要

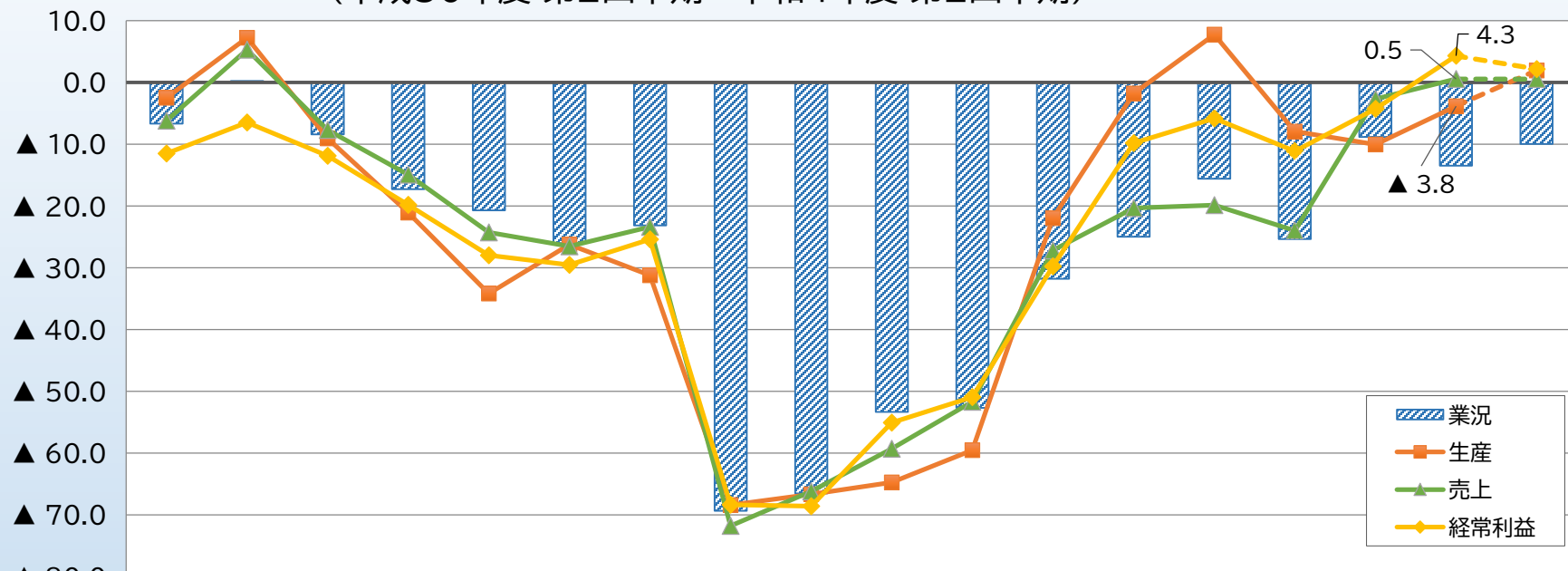
2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

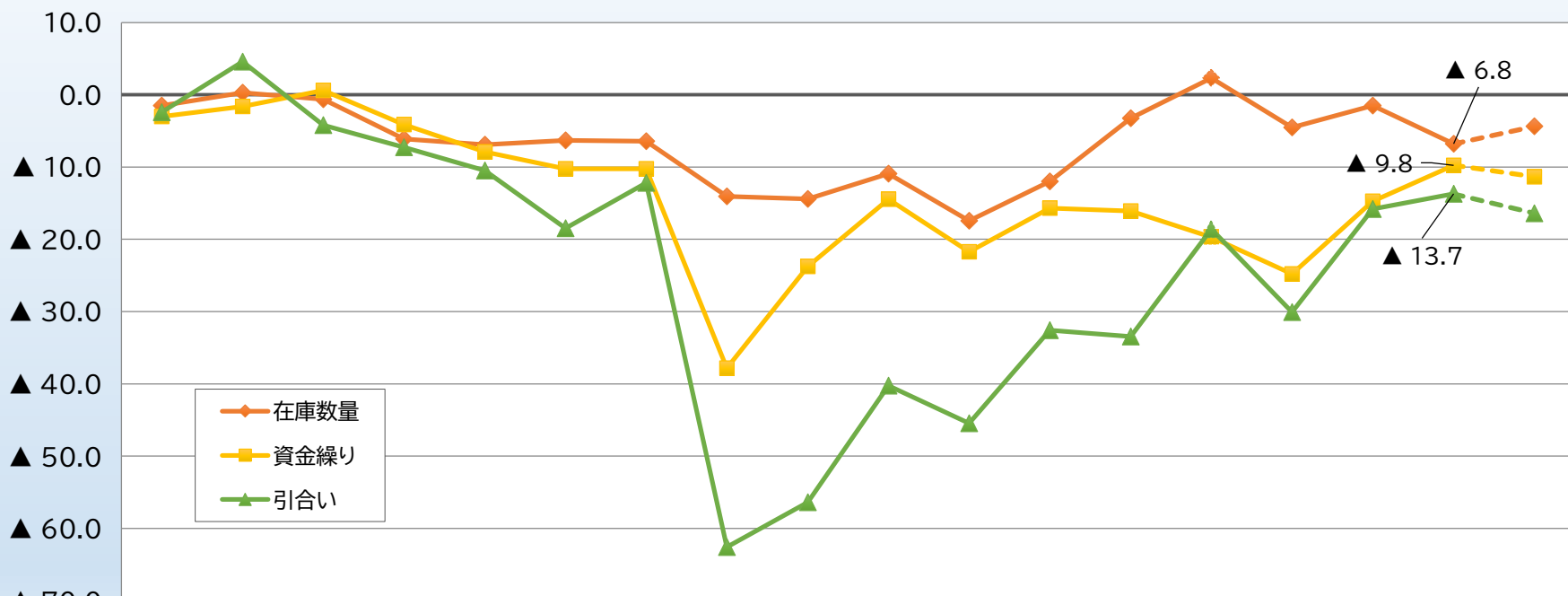


	H30(2018)年度			R1(2019)年度			R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度			
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
業況	▲ 6.7	0.2	▲ 8.4	▲ 17.3	▲ 20.7	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 15.6	▲ 25.4	▲ 8.8	▲ 13.5	▲ 10.0
生産	▲ 2.5	7.2	▲ 9.1	▲ 21.1	▲ 34.2	▲ 26.3	▲ 31.3	▲ 68.4	▲ 66.7	▲ 64.8	▲ 59.6	▲ 22.0	▲ 1.8	7.8	▲ 8.0	▲ 10.1	▲ 3.8	1.9
売上	▲ 6.2	5.3	▲ 7.7	▲ 14.9	▲ 24.3	▲ 26.5	▲ 23.4	▲ 71.8	▲ 66.2	▲ 59.3	▲ 51.7	▲ 27.2	▲ 20.3	▲ 19.9	▲ 24.0	▲ 2.7	0.5	0.5
経常利益	▲ 11.5	▲ 6.5	▲ 11.9	▲ 19.8	▲ 28.0	▲ 29.5	▲ 25.4	▲ 68.4	▲ 68.6	▲ 55.1	▲ 51.0	▲ 29.8	▲ 9.8	▲ 5.8	▲ 11.1	▲ 4.3	4.3	2.2

【業況】	今期: ▲13.5とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲10.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲3.8とマイナス幅が縮小した。	来期: +1.9とプラスに転じる見通し。
【売上】	今期: +0.5とプラスに転じた。	来期: +0.5と同水準の見通し。
【経常利益】	今期: +4.3とプラスに転じた。	来期: +2.2とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 **3. 規模別** 4. 業種別 5. 追加設問

【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

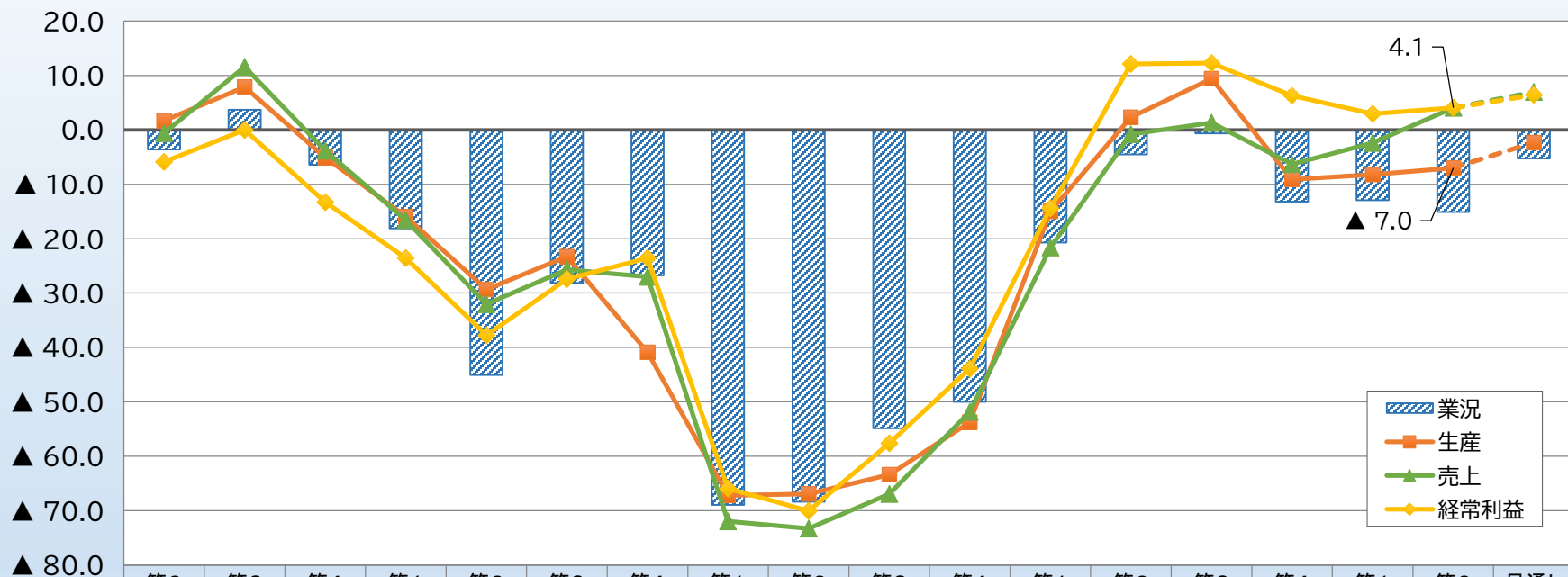


	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
在庫数量	▲ 1.5	0.3	▲ 0.6	▲ 6.1	▲ 6.9	▲ 6.3	▲ 6.4	▲ 14.1	▲ 14.4	▲ 10.9	▲ 17.4	▲ 12.0	▲ 3.2	2.3	▲ 4.5	▲ 1.5	▲ 6.8	▲ 4.4
資金繰り	▲ 3.0	▲ 1.6	0.6	▲ 4.1	▲ 7.9	▲ 10.3	▲ 10.2	▲ 37.8	▲ 23.8	▲ 14.5	▲ 21.7	▲ 15.7	▲ 16.1	▲ 19.7	▲ 24.8	▲ 14.7	▲ 9.8	▲ 11.4
引合い	▲ 2.4	4.6	▲ 4.2	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 18.5	▲ 12.2	▲ 62.6	▲ 56.4	▲ 40.3	▲ 45.5	▲ 32.6	▲ 33.5	▲ 18.6	▲ 30.1	▲ 15.8	▲ 13.7	▲ 16.4

【在庫数量】	今期: ▲6.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲4.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【資金繰り】	今期: ▲9.8とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲11.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲13.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲16.4とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

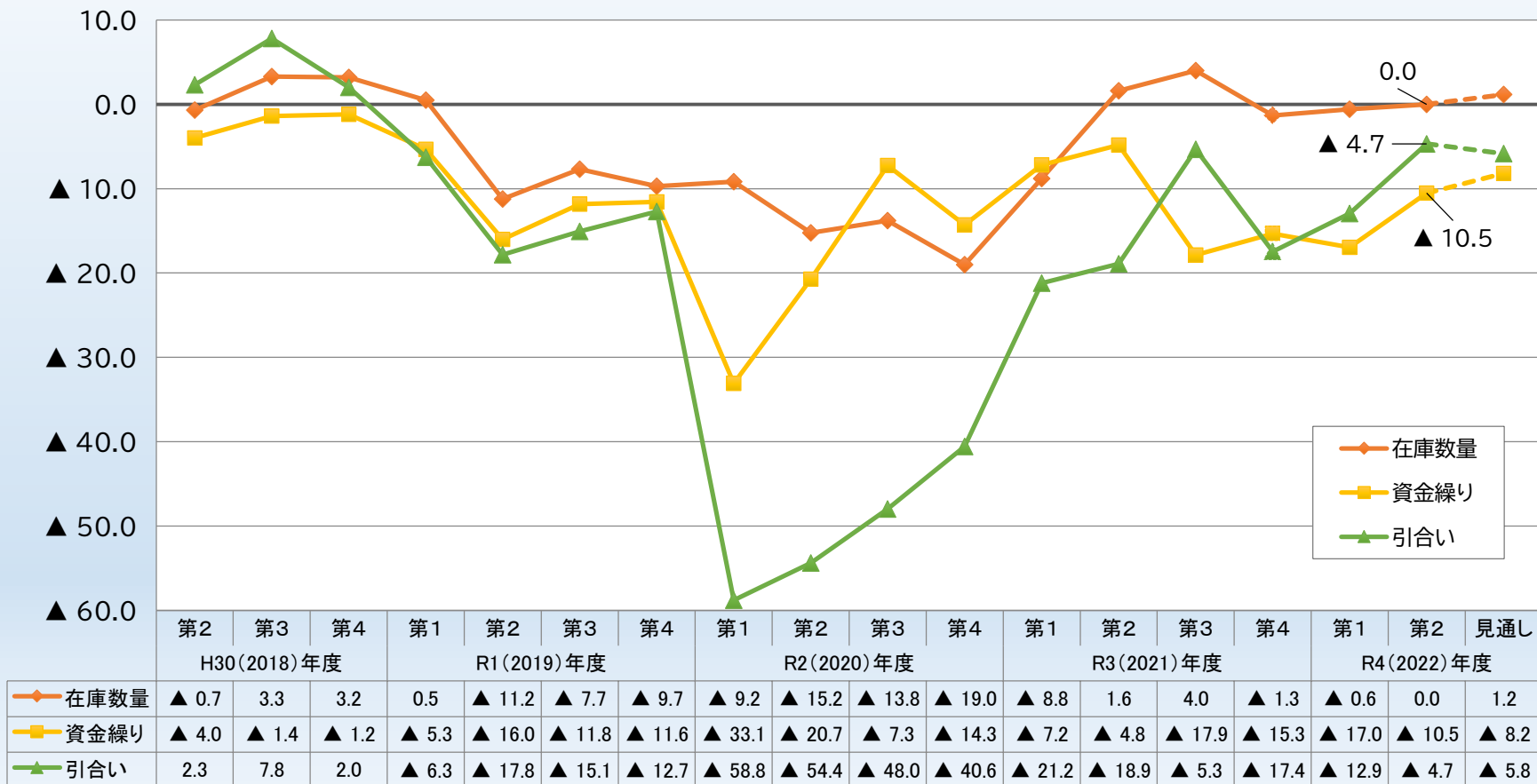


	H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
業況	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.1	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.7	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 13.2	▲ 12.9	▲ 15.1	▲ 5.2	
生産	1.7	7.9	▲ 5.1	▲ 16.0	▲ 29.3	▲ 23.3	▲ 40.9	▲ 67.2	▲ 67.0	▲ 63.4	▲ 53.8	▲ 15.0	2.3	9.4	▲ 9.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 2.3	
売上	▲ 0.6	11.6	▲ 3.8	▲ 16.6	▲ 32.0	▲ 25.7	▲ 27.0	▲ 72.0	▲ 73.3	▲ 66.9	▲ 51.9	▲ 21.6	▲ 0.8	1.3	▲ 6.3	▲ 2.4	4.1	7.0	
経常利益	▲ 5.9	0.0	▲ 13.3	▲ 23.6	▲ 37.8	▲ 27.4	▲ 23.6	▲ 65.9	▲ 70.1	▲ 57.6	▲ 43.9	▲ 14.4	12.1	12.3	6.3	2.9	4.1	6.4	

【業況】	今期: ▲15.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲5.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【生産】	今期: ▲7.0とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲2.3とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期: +4.1とプラスに転じた。	来期: +7.0とプラス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +4.1とプラス幅が拡大した。	来期: +6.4とプラス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

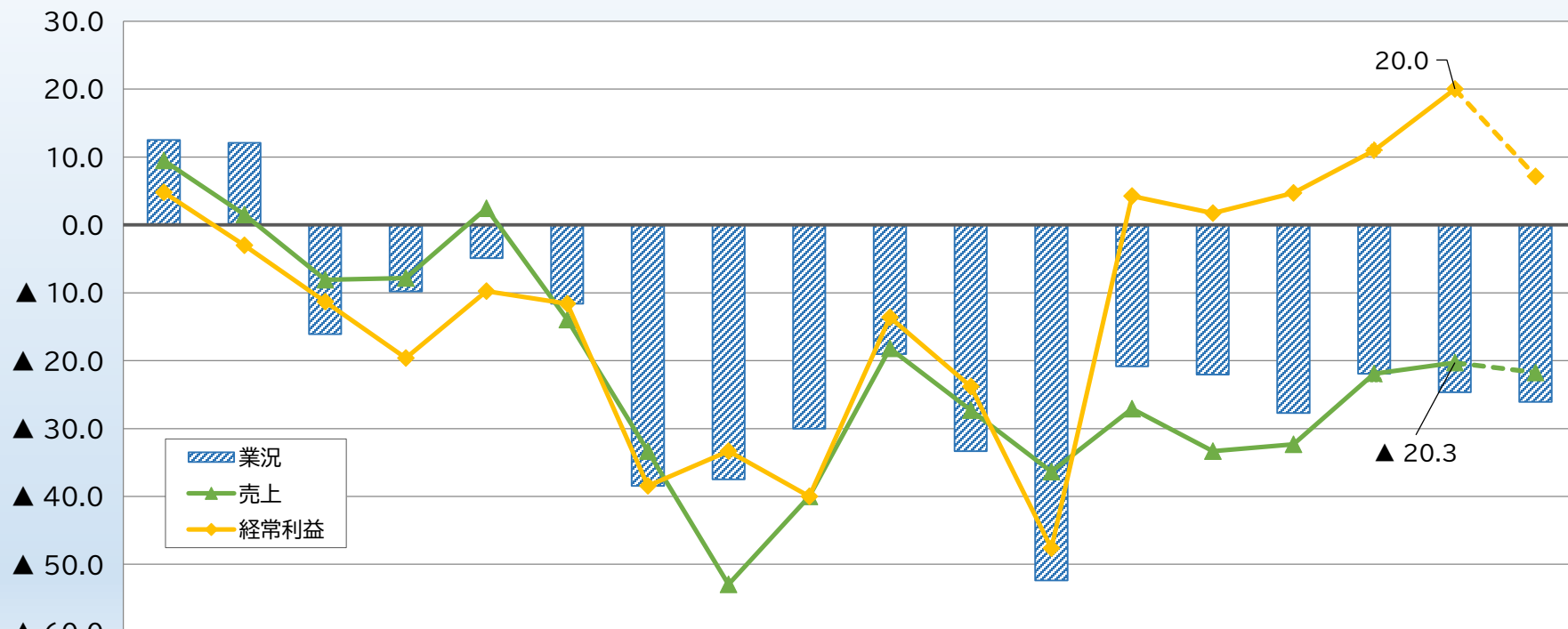
【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期:0.0とマイナス幅が縮小した。	来期:+1.2とプラス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期:▲10.5とマイナス幅が縮小した。	来期:▲8.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期:▲4.7とマイナス幅が縮小した。	来期:▲5.8とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

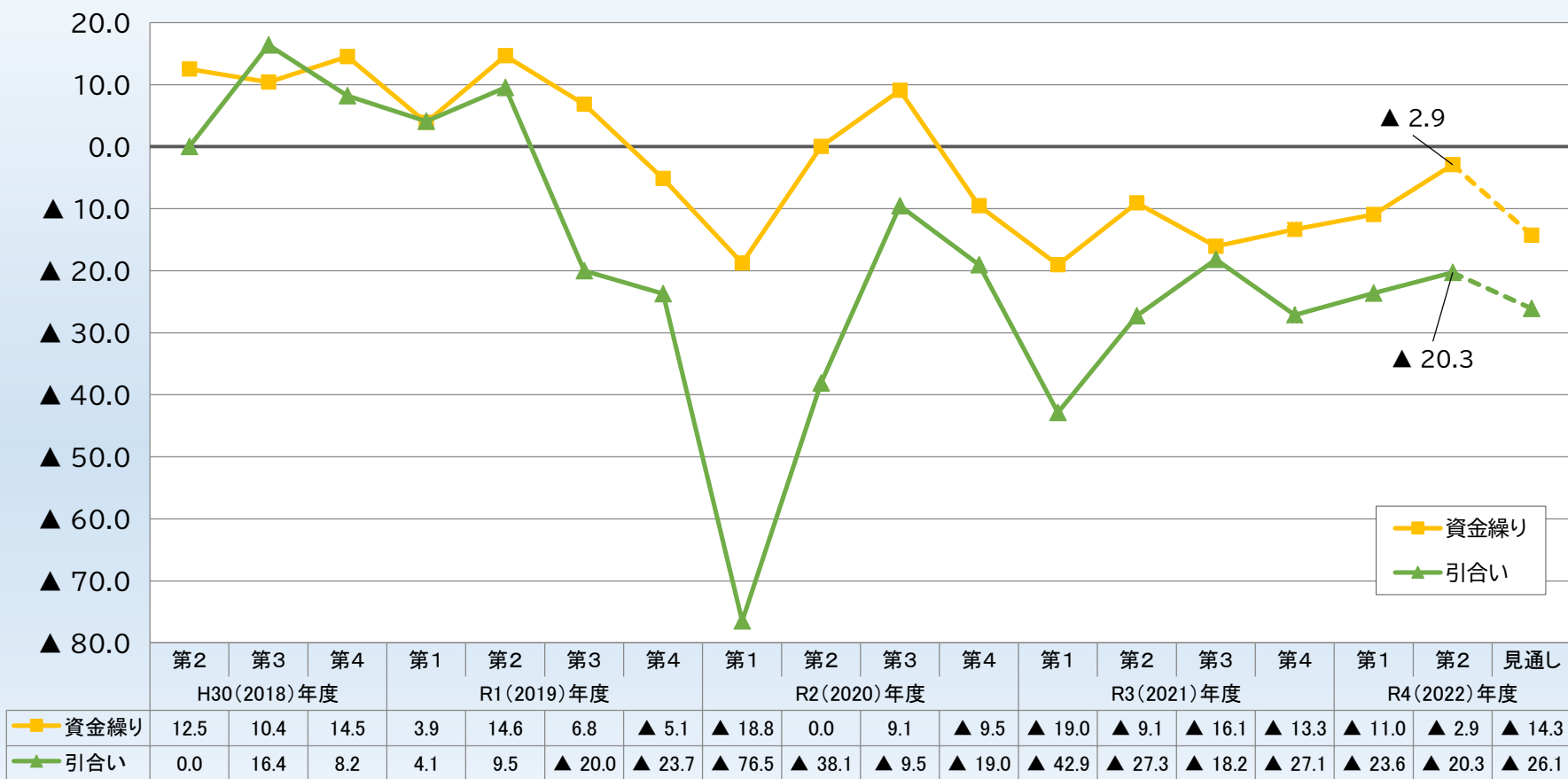


	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
	H30(2018)年度			R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度		
業況	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 27.7	▲ 21.9	▲ 24.6	▲ 26.1
売上	9.5	1.5	▲ 8.1	▲ 7.8	2.4	▲ 14.0	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 40.0	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 36.4	▲ 27.1	▲ 33.3	▲ 32.3	▲ 21.9	▲ 20.3	▲ 21.7
経常利益	4.8	▲ 3.0	▲ 11.3	▲ 19.6	▲ 9.8	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 13.6	▲ 23.8	▲ 47.6	4.3	1.7	4.7	11.0	20.0	7.1

【業況】	今期: ▲24.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲26.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: ▲20.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲21.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期: +20.0とプラス幅が拡大した。	来期: +7.1とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

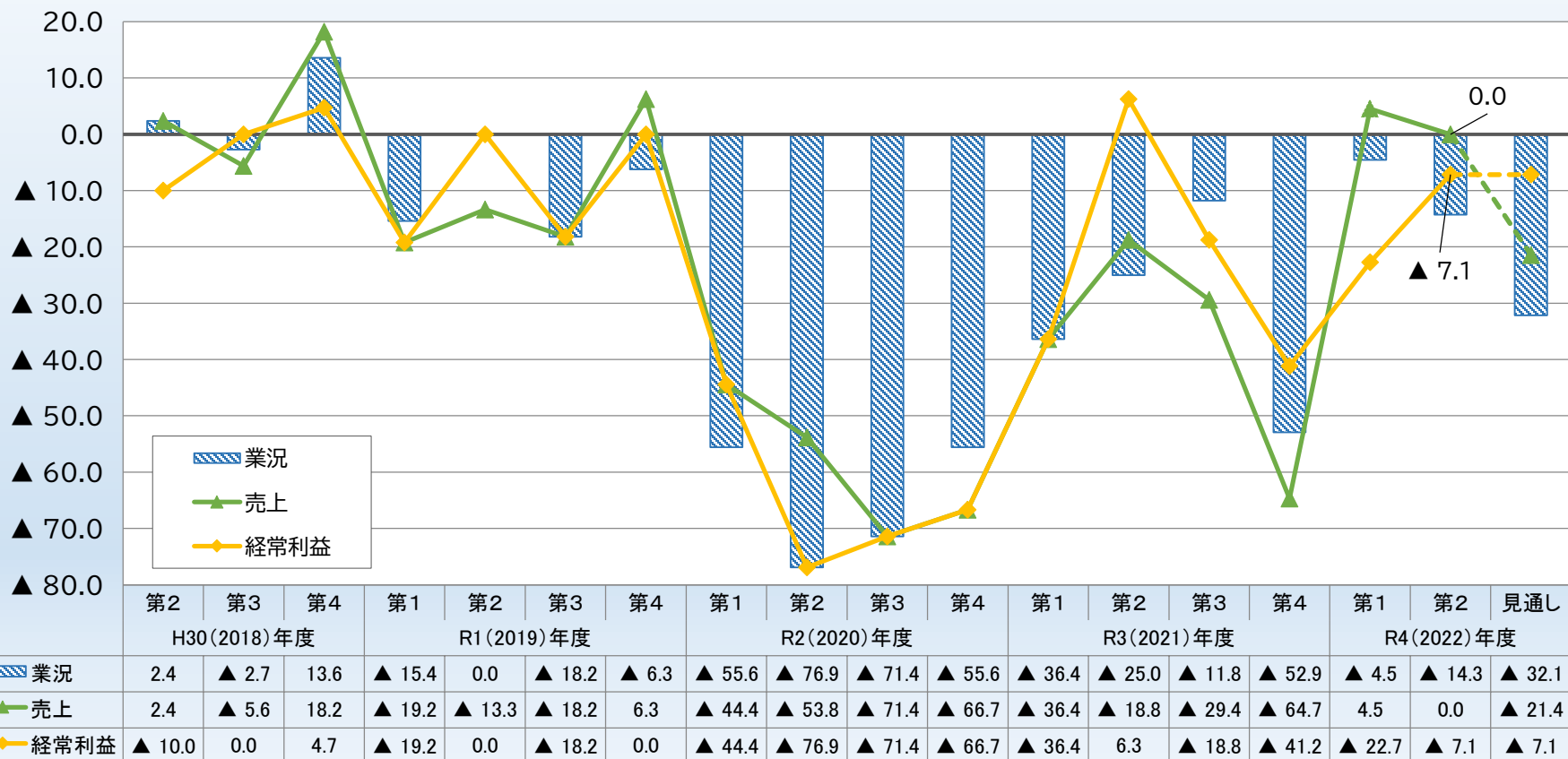
【建設業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【資金繰り】	今期: ▲2.9とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲14.3とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲20.3とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲26.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

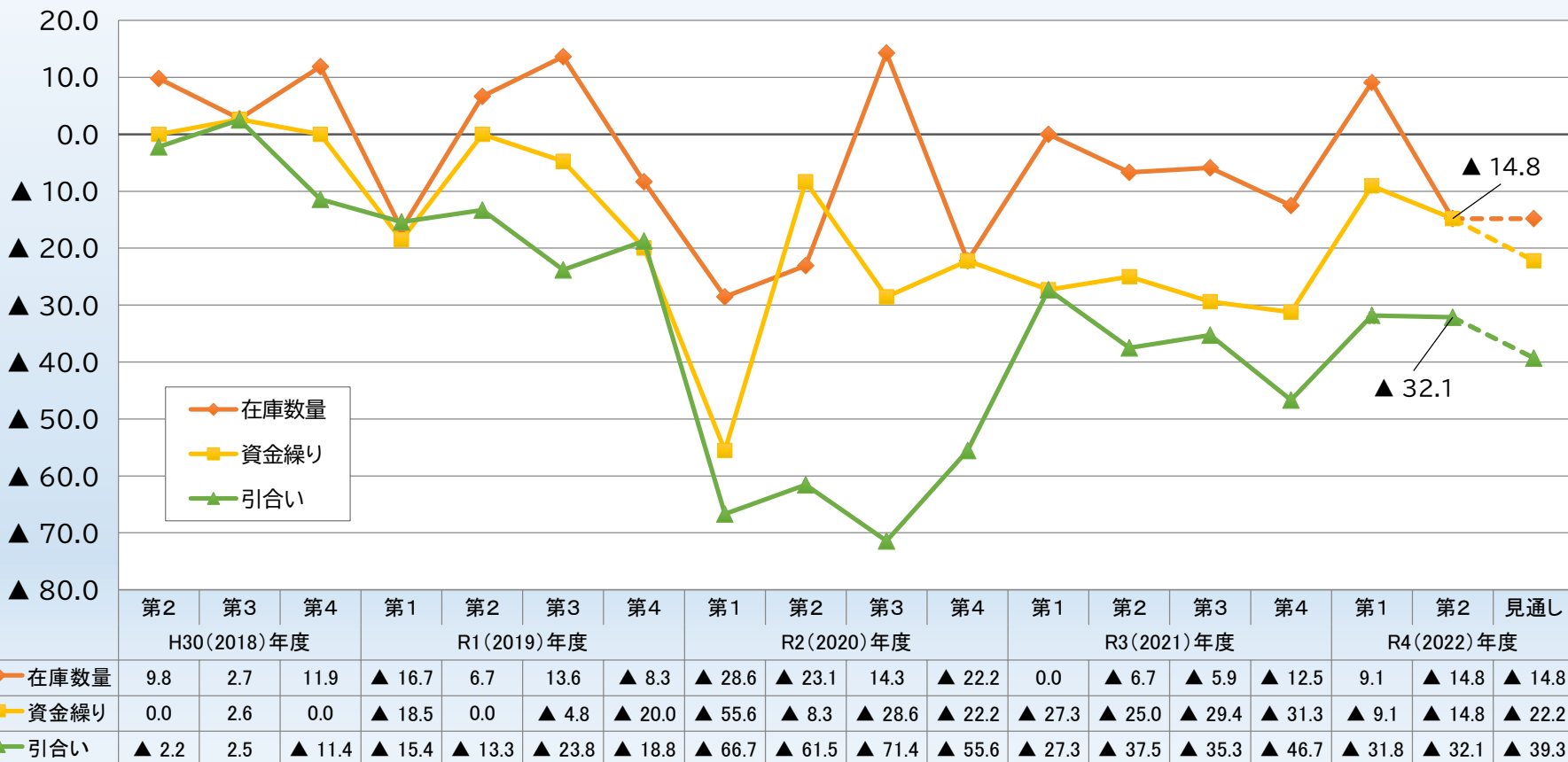
【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【業況】	今期:▲14.3とマイナス幅が拡大した。	来期:▲32.1とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期:0.0とプラス幅が縮小した。	来期:▲21.4とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期:▲7.1とマイナス幅が縮小した。	来期:▲7.1と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

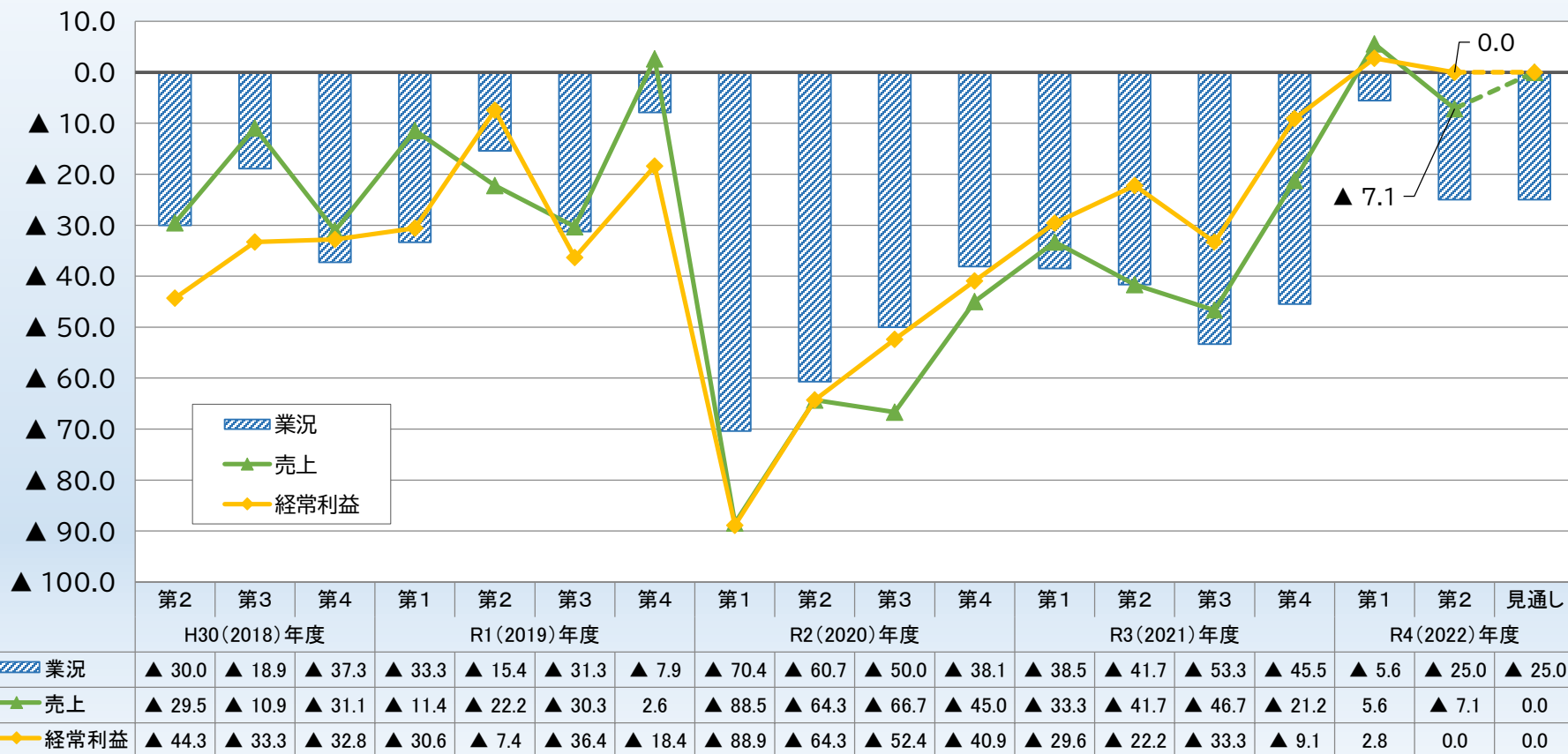
【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【在庫数量】	今期: ▲14.8とマイナスに転じた。	来期: ▲14.8と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲14.8とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲22.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲32.1とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲39.3とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

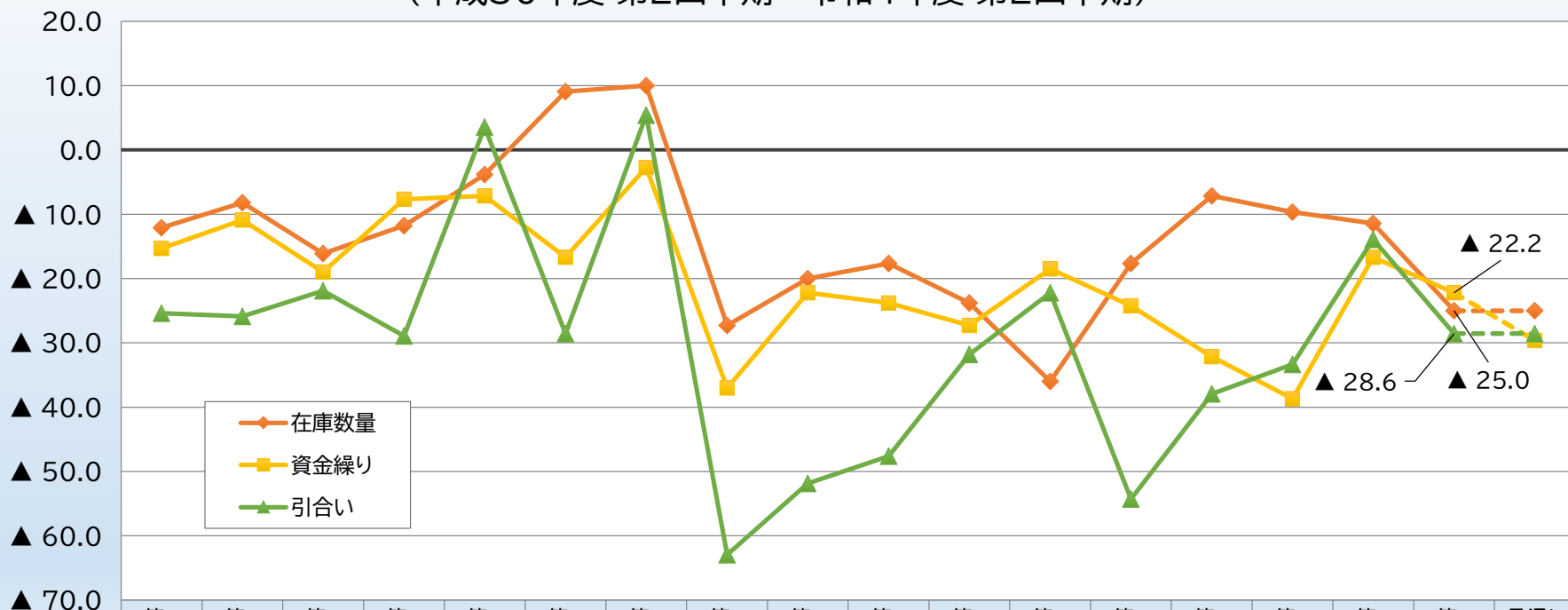
【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【業況】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0と同水準の見通し。
【売上】	今期: ▲7.1とマイナスに転じた。	来期: 0.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: 0.0とプラス幅が縮小した。	来期: 0.0と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

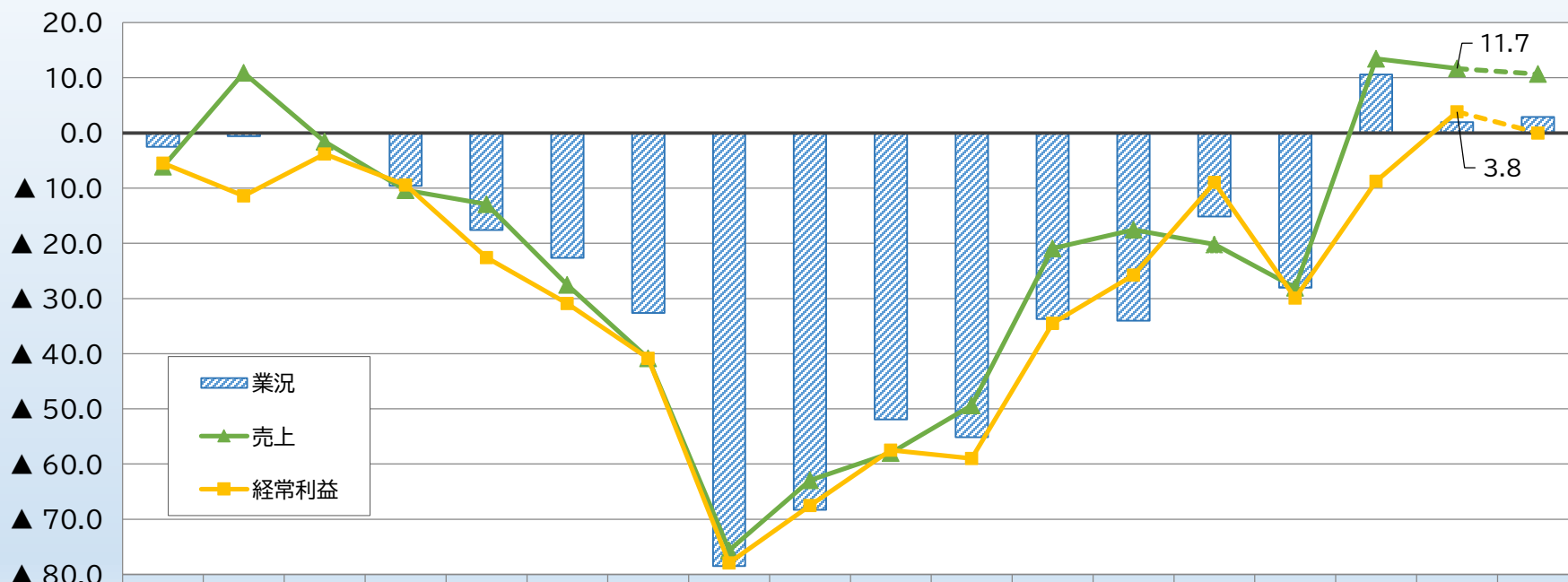


	H30(2018)年度			R1(2019)年度			R2(2020)年度				R3(2021)年度				R4(2022)年度			
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し
在庫数量	▲12.1	▲8.2	▲16.1	▲11.8	▲3.8	9.1	10.0	▲27.3	▲20.0	▲17.6	▲23.8	▲36.0	▲17.6	▲7.1	▲9.7	▲11.4	▲25.0	▲25.0
資金繰り	▲15.3	▲10.9	▲19.0	▲7.7	▲7.1	▲16.7	▲2.7	▲37.0	▲22.2	▲23.8	▲27.3	▲18.5	▲24.2	▲32.1	▲38.7	▲16.7	▲22.2	▲29.6
引合い	▲25.4	▲25.9	▲21.9	▲28.9	3.6	▲28.6	5.4	▲63.0	▲51.9	▲47.6	▲31.8	▲22.2	▲54.3	▲37.9	▲33.3	▲13.9	▲28.6	▲28.6

【在庫数量】	今期: ▲25.0とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲25.0と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期: ▲22.2とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲29.6とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲28.6とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲28.6と同水準の見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)

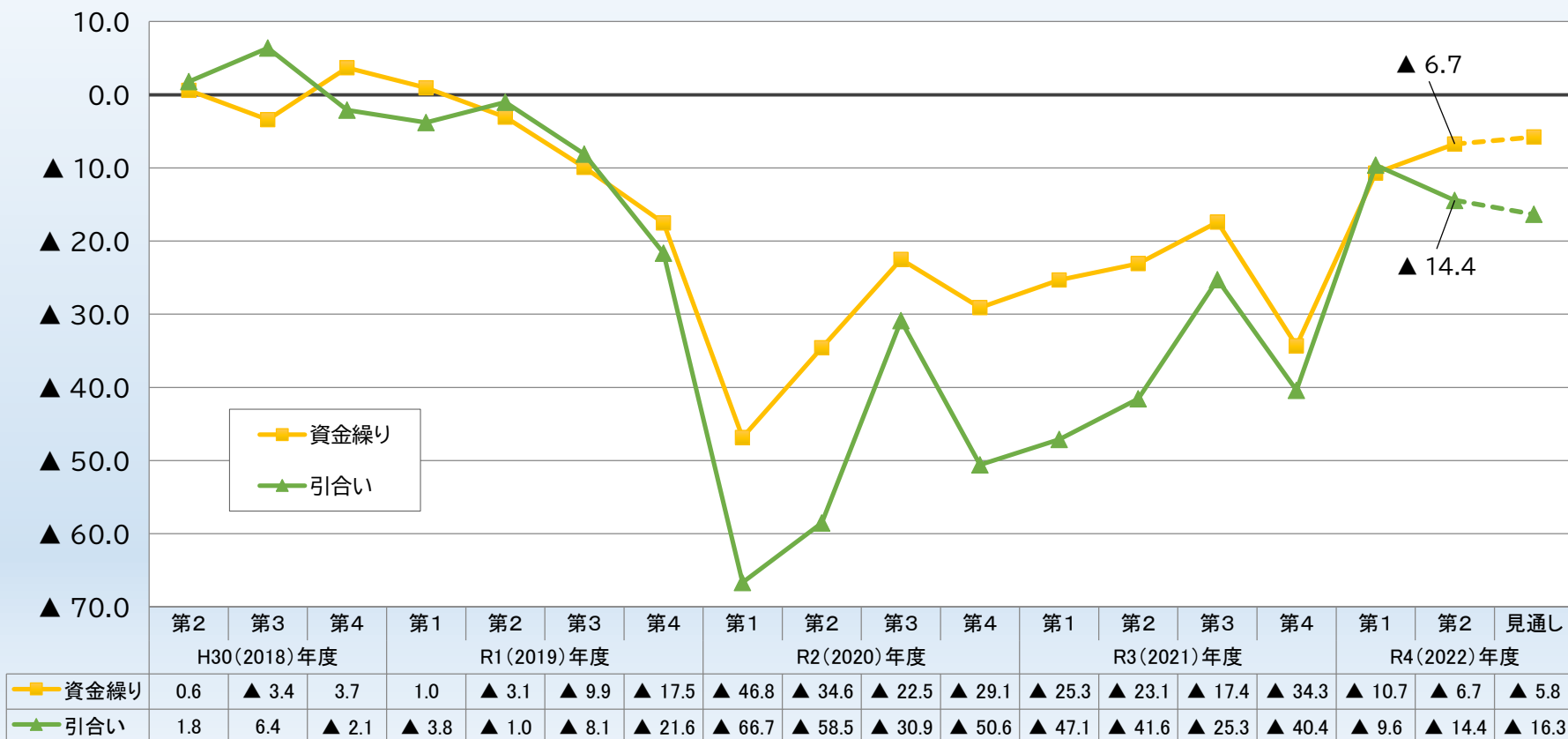


	第2 H30(2018)年度				第1 R1(2019)年度				第2 R2(2020)年度				第3 R3(2021)年度				第4 R4(2022)年度		
	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	見通し	
業況	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 28.0	10.6	1.9	2.9	
売上	▲ 6.1	10.9	▲ 1.6	▲ 10.4	▲ 12.9	▲ 27.5	▲ 40.8	▲ 75.6	▲ 63.0	▲ 58.0	▲ 49.4	▲ 20.9	▲ 17.5	▲ 20.2	▲ 28.0	13.5	11.7	10.7	
経常利益	▲ 5.5	▲ 11.4	▲ 3.8	▲ 9.4	▲ 22.6	▲ 30.9	▲ 40.8	▲ 77.9	▲ 67.5	▲ 57.5	▲ 59.0	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 9.0	▲ 29.9	▲ 8.7	3.8	0.0	

【業況】	今期: +1.9とプラス幅が縮小した。	来期: +2.9とプラス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期: +11.7とプラス幅が縮小した。	来期: +10.7とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期: +3.8とプラスに転じた。	来期: 0.0とプラス幅が縮小する見通し。

1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 (平成30年度 第2四半期～令和4年度 第2四半期)



【資金繰り】	今期: ▲6.7とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲5.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期: ▲14.4とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲16.3とマイナス幅が拡大する見通し。

景況調査結果報告書(令和4年度第2四半期)

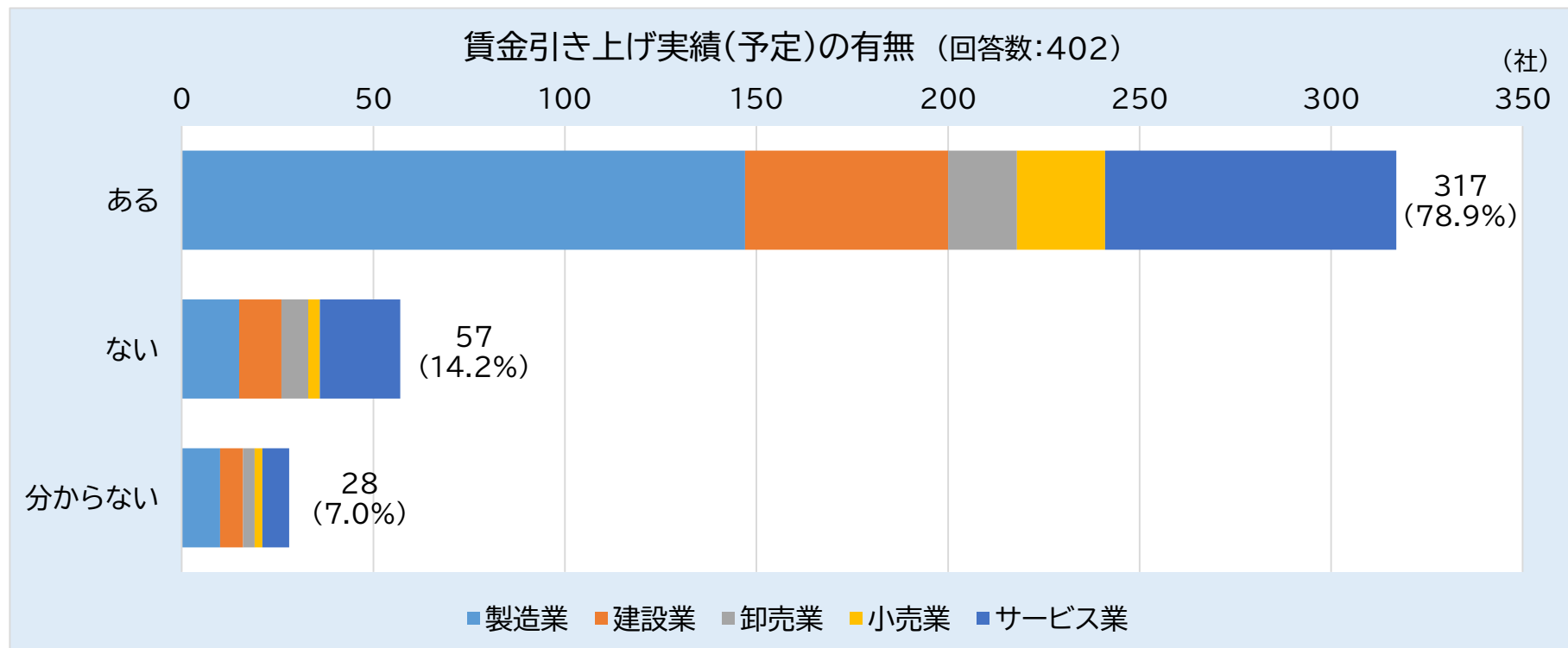


1. 調査概要 2. 全体 3. 規模別 **4. 業種別** 5. 追加設問

業況判断	企業コメント	業種
好転	原材料価格の高騰により利益率は低下の見込み。	製造業
	受注はコロナ発生前の水準に戻りつつある。	製造業
	コロナ等の影響により、前年、大手からの受注が落ち込んだが本年は回復基調。	卸売業
	今後のコロナの影響がどうなるか不確定要素が大きい。	サービス業
不変	仕入の値上がりが激しく、売上もまだコロナの影響を受けている。	小売業
	原材料の高騰、人員確保が課題。	建設業
	原材料高騰の影響が利益を圧迫している。	製造業
	材料費・輸送費の高騰に、電子部品が手に入りづらいことにより、注文いただいても納期の見通しが立てづらい状況。	製造業
	売上や採算はあまり変化無いと見ているが、繁忙期に向けたアルバイトの採用についてかなり不安。本年も採用に苦労した。	サービス業
悪化	最低賃金上昇分が契約単価に反映されないので、経営は厳しい。	サービス業
	中国のロックダウンの影響、半導体不足の影響があり、しばらくは良くない状況が続くとみられる。	製造業
	原材料高騰の影響により悪化する見通し。	サービス業
	コロナ陽性者の数が爆発的に増加した影響で、また売上が減少している	卸売業
	原材料や副資材、消耗品、電気代などの価格高騰分の売価への価格転嫁が追い付いていない。客先での在庫滞留などにより、売上見通しも悪い。	製造業

賃金引き上げ実績(予定)の有無

- 今年度(令和4年4月～令和5年3月の間)、賃金引き上げの実績・予定があるか尋ねたところ、「ある」がおよそ8割であった。



※端数の四捨五入により、各項目の合計は100%とならない

1. 調査概要

2. 全体

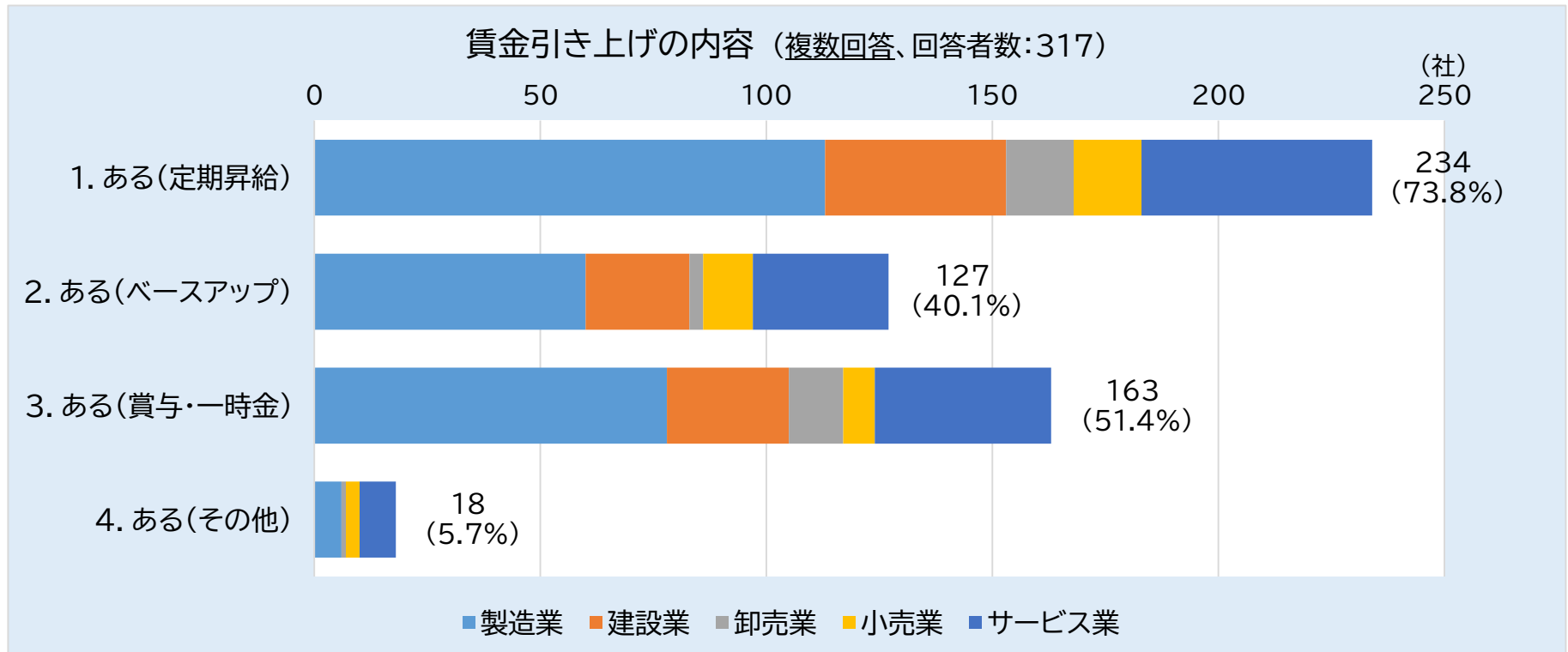
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げの内容

- 今年度、賃金引き上げの実績・予定がある事業所を対象に、引き上げの内容を複数回答で尋ねたところ、「定期昇給」が最も多く、次いで「賞与・一時金」、「ベースアップ」の順に多かった。
- 「その他」の内容： 最低賃金改定に伴う引き上げ 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

1. 調査概要

2. 全体

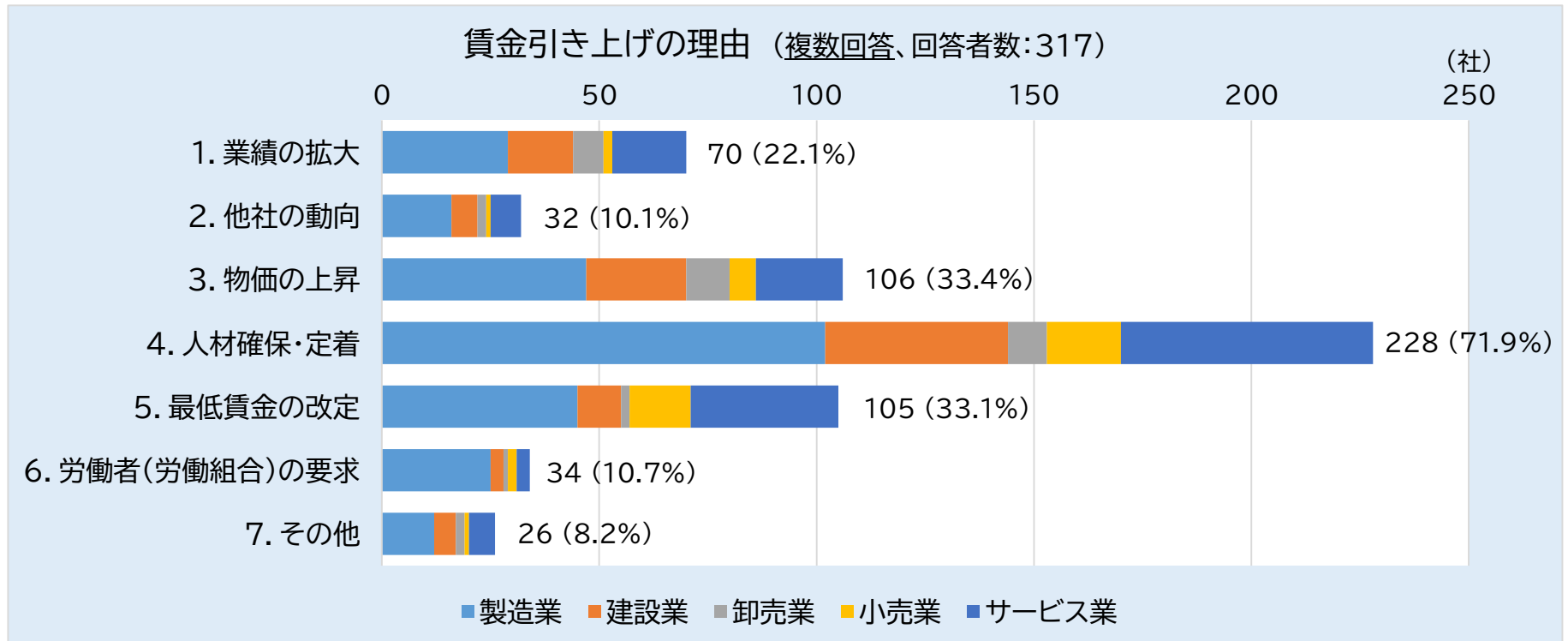
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

賃金引き上げの理由

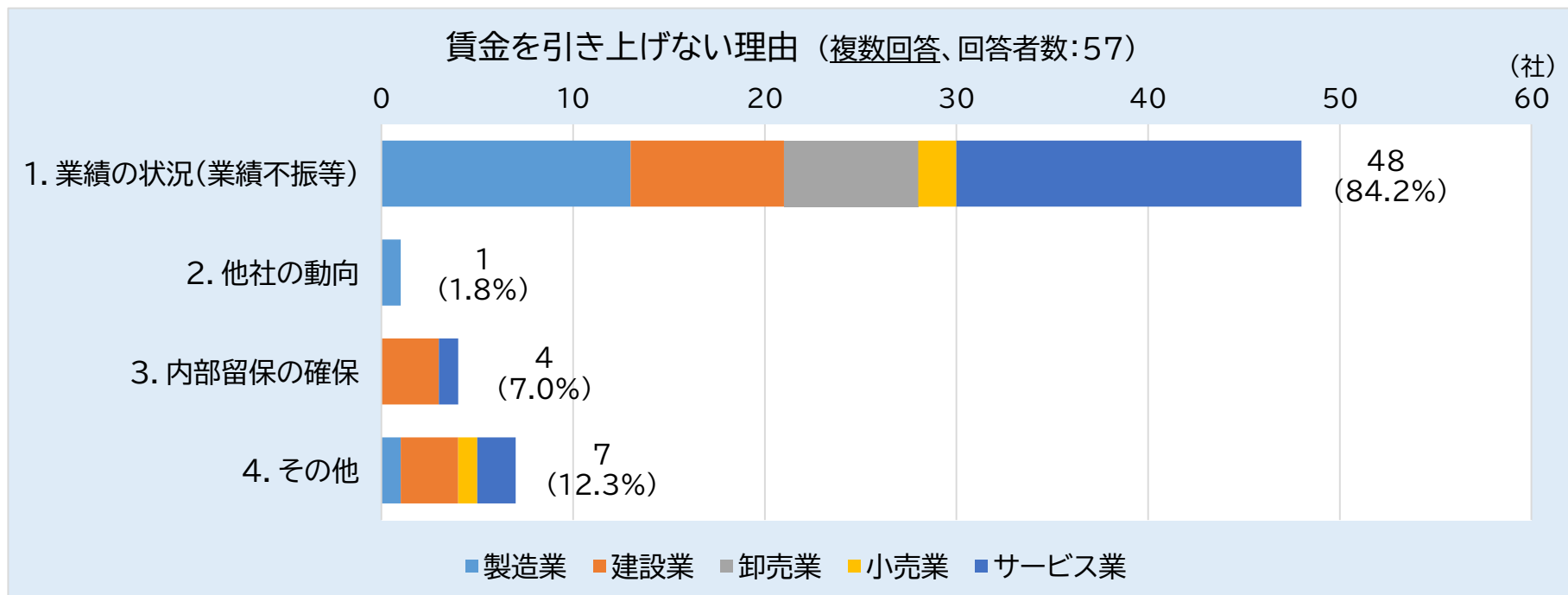
- 賃金引き上げの理由を複数回答で尋ねたところ、「人材確保・定着」が最も多く、「物価の上昇」、「最低賃金の改定」が続いた。
- 「その他」の内容： 社内基準に基づく決定、人事制度による 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)

賃金を引き上げない理由

- 今年度、賃金引き上げの実績・予定がない事業所を対象に、その理由を複数回答で尋ねたところ、「業績の状況」が最も多かった。
- 「その他」の内容： 引き上げの理由がない、令和4年1月に大幅に引き上げたため 等



※各項目の()内の割合は、回答者数に占める割合(複数回答のため合計は100%にならない)